

小児用レルベア 50 エリプタ 14 吸入用
 小児用レルベア 50 エリプタ 30 吸入用
 レルベア 100 エリプタ 14 吸入用
 レルベア 100 エリプタ 30 吸入用
 レルベア 200 エリプタ 14 吸入用
 レルベア 200 エリプタ 30 吸入用

【この薬は？】

販売名	小児用レルベア 50 エリプタ 14 吸入用 小児用レルベア 50 エリプタ 30 吸入用 Relvar 50 Ellipta 14doses for Pediatric Relvar 50 Ellipta 30doses for Pediatric	レルベア 100 エリプタ 14 吸入用 レルベア 100 エリプタ 30 吸入用 Relvar 100 Ellipta 14doses Relvar 100 Ellipta 30doses	レルベア 200 エリプタ 14 吸入用 レルベア 200 エリプタ 30 吸入用 Relvar 200 Ellipta 14doses Relvar 200 Ellipta 30doses
一般名	ビランテロールトリフェニル酢酸塩／ フルチカゾンフランカルボン酸エステル Vilanterol Trifenatate・Fluticasone Furoate		
含有量 (1ブリ スター* 中) * : 1回 分の薬剤 (粉末)	ビランテロールトリ フェニル酢酸塩 40µg (ビランテロールとし て 25µg) /フルチカ ゾンフランカルボン酸 エステル 50µg	ビランテロールトリ フェニル酢酸塩 40µg (ビランテロールとし て 25µg) /フルチカ ゾンフランカルボン酸 エステル 100µg	ビランテロールトリ フェニル酢酸塩 40µg (ビランテロールとし て 25µg) /フルチカ ゾンフランカルボン酸 エステル 200µg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。
 したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療

関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・ この薬は、長時間作用する気管支拡張剤と、ステロイド性抗炎症剤と呼ばれる薬を両方含んだ吸入剤です。
- ・ この薬は、吸入してすぐに効果はあらわれませんが、長時間にわたり気管支を拡張してさらに炎症をおさえることにより、呼吸を楽にします。
- ・ 次の病気の人に処方されます。

〔レルベア 100 エリプタ 14 吸入用、レルベア 100 エリプタ 30 吸入用〕

- ・ **気管支喘息（吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入 β_2 刺激剤の併用が必要な場合）**
- ・ **慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎・肺気腫）の諸症状の緩解（吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入 β_2 刺激剤の併用が必要な場合）**

〔小児用レルベア 50 エリプタ 14 吸入用、小児用レルベア 50 エリプタ 30 吸入用、レルベア 200 エリプタ 14 吸入用、レルベア 200 エリプタ 30 吸入用〕

- ・ **気管支喘息（吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入 β_2 刺激剤の併用が必要な場合）**
- ・ この薬は、毎日規則正しく使用する薬で、喘息の発作や慢性閉塞性肺疾患の増悪を速やかに鎮める薬ではありません。症状が悪化した時には、別に処方された発作止め薬を使用するか、ただちに受診してください。
- ・ この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用し続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・ 有効な抗菌剤のない感染症にかかっている人
- ・ 全身の真菌症にかかっている人
- ・ 過去にレルベアに含まれる成分で過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・ 結核や感染症にかかっている人
- ・ 心臓に障害のある人
- ・ 糖尿病の人

- ・ 肝臓に障害がある人
- ・ 妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・ 授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は吸入薬で、飲み薬ではありません。

● 使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

なお、1日に使用する回数は1回までです。

通常、使用する量および回数は、次のとおりです。

【気管支喘息の治療に使用する場合】

○成人の場合

販売名	レルベア 100 エリプタ 14 吸入用 レルベア 100 エリプタ 30 吸入用	レルベア 200 エリプタ 14 吸入用 レルベア 200 エリプタ 30 吸入用
一回量	1 吸入（カバーをカチッと音がするまで1回開ける）	1 吸入（カバーをカチッと音がするまで1回開ける）
使用回数	1 日 1 回 なるべく同じ時間帯に吸入する	1 日 1 回 なるべく同じ時間帯に吸入する

○12 歳以上の小児の場合

販売名	レルベア 100 エリプタ 14 吸入用 レルベア 100 エリプタ 30 吸入用
一回量	1 吸入（カバーをカチッと音がするまで1回開ける）
使用回数	1 日 1 回 なるべく同じ時間帯に吸入する

○5 歳以上 12 歳未満の小児の場合

販売名	小児用レルベア 50 エリプタ 14 吸入用 小児用レルベア 50 エリプタ 30 吸入用
一回量	1 吸入（カバーをカチッと音がするまで1回開ける）
使用回数	1 日 1 回 なるべく同じ時間帯に吸入する

【慢性閉塞性肺疾患の諸症状の緩解に使用する場合】

販売名	レルベア 100 エリプタ 14 吸入用 レルベア 100 エリプタ 30 吸入用
一回量	1 吸入（カバーをカチッと音がするまで1回開ける）
使用回数	1 日 1 回

なるべく同じ時間帯に吸入する

過度に使用した場合、不整脈や心不全など重篤な副作用がおこるおそれがありますので、1日1回を超えて使用しないでください。

● **どのように使用するか？**

- ・ 吸入方法に関しては医師や薬剤師から説明を受けてください。使用説明書にも書かれていますので、よく読んで使用してください。
また、巻末の〔レルベアエリプタの吸入方法〕も参照してください。
不明な場合は、医師や薬剤師に相談してください。
- ・ 口腔内カンジダ症やしゃがれ声の予防のため、この薬を吸入した後はうがいをしてください。うがいができない場合は、口の中をすすぐようにしてください。

● **この薬を吸入できる回数？**

この薬の中には14吸入用には14回分、30吸入用には30回分の薬が入っています。

処方されたときはカウンターに「14」または「30」と記載されていますが、吸入する時にカバーをカチッと音がするまで開けると自動的にカウンターが動き、残りの使用回数が確認できます。この表示が「0」（ゼロ）になったら使用しないで新しい薬と交換してください。

● **効果が不十分な場合の対応**

この薬を毎日規則的に使用しても効果が不十分な場合には、できるだけ早く受診してください。

● **使用し忘れた場合の対応**

- ・ 2回分を1度に吸入しないでください。
- ・ 気付いたらすぐに1回分吸入してください。
- ・ その後の吸入は、通常吸入している時間帯に1回分を吸入するようにしてください。ただし、1日1回を超えて吸入しないでください。

● **多く使用した時（過量使用時）の対応**

頻脈、不整脈（めまい、動悸（どうき）、脈が遅くなる、気を失う、脈がとぶ）、振戦（手足のふるえ、首のふるえ）、頭痛、筋痙攣（きんけいれん）（筋肉がピクピクする、筋肉のけいれん、筋肉の痛み）、QT 間隔延長（めまい、動悸、気を失う）などの症状や副腎皮質機能抑制（体がだるい、力が入らない、意識の低下、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振など）などの全身性の作用があらわれることがあります。患者さんまたは保護者の方は過量使用時の危険性について十分理解できるまで説明を受けてください。

いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

〔この薬を使用される全ての方に共通〕

- ・ 小児が使用する場合は、家族の方も正しい使用方法を理解して監督してください。
- ・ この薬は、喘息の発作や慢性閉塞性肺疾患の増悪を速やかに鎮める薬ではあ

りません。この薬は毎日規則正しく使用する薬です。

- ・ この薬を使用中に喘息の急性の発作がおこった場合または慢性閉塞性肺疾患が急性増悪した場合には、別に処方された発作治療薬を使用してください。その発作治療薬の使用量が增えたり、効果が不十分と感じられたりする場合は、できるだけ早く主治医または近くの医療機関を受診してください。
- ・ この薬の使用を突然中止すると症状の急激な悪化を起すことがあります。主治医の指示なく、自己判断で使用を中止したりしないでください。
- ・ 吸入薬を使用した場合、薬剤の吸入そのものにより気管支痙攣（息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れ）があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。
- ・ 全身性ステロイド*と比較して可能性は低いものの、吸入ステロイド剤の連用により、全身性の作用としてクッシング症候群、クッシング様症状（肥満、満月様顔貌（ムーンフェイス）、筋力の低下など）、副腎皮質機能抑制（体がだるい、力が入らない、意識の低下、吐き気、嘔吐、食欲不振など）、小児の成長遅延、骨密度の低下、白内障（かすんで見える、視力の低下、まぶしいなど）、緑内障（目のかすみ、視力の低下、視野が欠けて狭くなる）、中心性漿液性網脈絡膜症（視力の低下、目のかすみ、物がゆがんで見える）などがあらわれることがあるので、特に長期間使用したり、大量に使用したりする場合は、定期的に検査が行われます。
*全身性ステロイド：ステロイドと呼ばれるグループに属する薬のうち、飲み薬と注射のこと。この薬は吸入薬なので全身性ステロイドではありません。
- ・ 過量に使用すると、不整脈（めまい、動悸など）があらわれることがあります。このような症状があらわれたら、ただちに使用を中止し、受診してください。場合により、心停止にいたることもあります。
- ・ 妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・ 授乳している人は医師に相談してください。
- ・ 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

【気管支喘息の治療に使用する場合】

- ・ この薬を使用中に、喘息のコントロールが不良になったり、症状が悪化した場合には、自己判断で使用を中止せず、医師に相談してください。

これらのことについて、患者さんまたは保護者の方は理解できるまで十分説明を受けてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
アナフィラキシー反応	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい

アナフィラキシーはんのう	
肺炎 はいえん	発熱、咳、痰、息切れ、息苦しい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、発熱
口や喉	咳、痰、喉のかゆみ
胸部	息苦しい、息切れ、動悸
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹

【この薬の形は？】

小児用レルベア 50 エリプタ 14 吸入用	レルベア 100 エリプタ 14 吸入用	レルベア 200 エリプタ 14 吸入用
		
小児用レルベア 50 エリプタ 30 吸入用	レルベア 100 エリプタ 30 吸入用	レルベア 200 エリプタ 30 吸入用
		

【この薬に含まれているのは？】

販売名	小児用レルベア 50 エリプタ 14 吸入用 小児用レルベア 50 エリプタ 30 吸入用	レルベア 100 エリプタ 14 吸入用 レルベア 100 エリプタ 30 吸入用	レルベア 200 エリプタ 14 吸入用 レルベア 200 エリプタ 30 吸入用
有効成分	ビランテロールトリフェニル酢酸塩／フルチカゾンフランカルボン酸エステル		
添加剤	乳糖水和物（夾雑物として乳蛋白を含みます）、 ステアリン酸マグネシウム		

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・ 直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・ アルミ包装は使用開始直前まで開封しないでください。
- ・ 子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・ 絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・ 余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・ 症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・ 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：

グラクソ・スミスクライン株式会社 (<https://jp.gsk.com>)

カスタマー・ケア・センター

電話：0120-561-007

受付時間：9時～17時45分（土、日、祝日および当社休業日を除く）

吸入器(エリプタ®)をご使用になる方へ

GSK



《お願い》 お薬がムダになってしまうので、
吸入するとき以外はカバーを開けないでください

表示の見方 カウンターの表示を確認してください

-  薬の残りの使用回数が表示されます。
未使用の状態では、最大使用回数*が表示されています。
-  薬の残りが「9」以下になると、左側が赤色になります。
-  薬がなくなり、カウンターが「0」になった後に
カバーを開けると、カウンター表示が赤色になります。
※「7」「14」「30」の3種類があります

用法・用量

主治医から指示された用法・用量に従ってください。
(なるべく同じ時間帯に)1日1回1吸入してください。

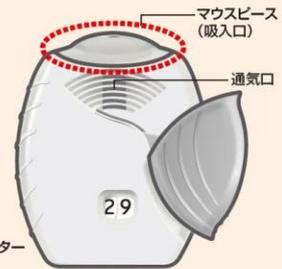
注意事項

- 包装トレイは使用開始直前に開封してください。
- 包装トレイ開封後は6週間以内に使用してください。薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。
- 高温多湿を避けて、室温で保管してください。
- カバーを開けるときに重さ(抵抗)を感じることや、きしみ音がすることがあります。
これは、吸入器の内部で薬がセットされるとき音で、故障ではありません。
- カバーを開けてから吸入するまで、振ったり叩いたりしないでください。

カバーを閉じた状態



カバーを開けた状態



- エリプタには、薬剤が7回分、14回分、30回分充填された3種類のタイプがありますので、使用前にご確認ください。

吸入器(エリプタ®)の使い方



《お願い》 お薬がムダになってしまうので、
吸入するとき以外はカバーを開けないでください

1



「カチッ」と音がするまでカバーを開ける

吸入の準備完了です。カウンターが1つ減ったことを確認してください。
カバーを開け、吸入せずに閉じた場合、その1回分は吸入できません。

※カバーを開けるとときに「カチッ」という音が聞こえにくい場合がありますが、カウンターが1つ減っていれば薬はセットされています

2



「フーッ」と息を吐き出す

無理をしない程度に息を吐き出してください。
マウスピース(吸入口)に息を吹きかけないように、注意してください。

3



マウスピース(吸入口)全体をしっかりとくわえ 「スーッ」と深く吸い込む

肺の奥まで空気を送り届けるイメージで強めに吸い込んでください。



4



吸入器から口を離し少なくとも3~4秒以上、 息を止める

5



ゆっくりと息を吐き、いつも通りに呼吸する

吸入後は吸入器(エリプタ)のカバーを閉じてください。

6



吸入後はうがいをする

患者さんによっては、吸入時に甘みや苦みを感じる場合があります。のどや口の中に残っている薬を、洗い流しましょう。うがいは、副作用の予防になります。

〈苦みへの対応のポイント〉

吸入後のうがいに加え、吸入前に口腔内を湿らせておくことで苦みを和らげる*

*口腔内が乾燥していると、吸入剤が口腔壁面に強固に付着してしまうため、吸入前には口腔内を湿らせておくこと洗い流しやすくなる¹⁾

1) すべての医療者のための明日からできる実践吸入指導 改訂第3版—指導から支援へ—メディカルレビュー社 2018; p35-37, 133-135